



Press Release

2011 年 5 月 31 日

<<報道資料>>

日本コンピュウェア株式会社

コンピュウェア、2011 年度決算を発表 APM 関連を中心に成長事業がビジネスを加速

- 2011 年度の EPS (1 株当たり利益) は 48 セントを達成、うち第 4 四半期は 16 セントでした。
- 2011 年度の APM ライセンスおよびサブスクリプション収入は、GAAP ベースで、前年比 91.7% 増の 1 億 4,550 万ドルに急上昇。pro forma ベースでも、34.1% の伸びを示しました。
- 2011 年度の Covisint 関連収入は前年比 36.0% 増の 5,500 万ドルとなりました。
- 第 4 四半期の業績: APM ライセンスおよびサブスクリプション収入は前年同期比 54.0%、Covisint 関連収入 65.5%、Uniface ライセンス収入 76.7%、Changepoint ライセンス収入 14.3% といずれも増加を記録しました。また、プロフェッショナルサービス事業の貢献利益は全体の 15% 超となりました。
- 2012 年度に関しても、売上のさらなる成長、EPS の増加、盤石なキャッシュフローの達成を見込んでいます。

※当資料は、コンピュウェア コーポレーションが米国時間 2011 年 5 月 24 日に発表した報道資料の抄訳です。

米国ミシガン州デトロイト - 2011 年 5 月 24 日発表 - コンピュウェア コーポレーション (NASDAQ: CPWR) は、本日、2011 年 3 月 31 日をもって終了した 2011 年度第 4 四半期および 2011 会計年度の決算を発表しました。

コンピュウェアの社長兼 COO の Bob Paul は、次のように述べています。

「成長事業の好調が持続したことにより、コンピュウェアは 2011 年度も素晴らしい業績を達成することができました。アプリケーションパフォーマンス管理 (APM) 市場とコラボレーション市場において、重要となるビジネス上の課題を解決するという、他に類のないソリューションにより、目覚ましい成長を遂げたのです。今後もこの成長は持続するものと期待しています。また、メインフレームソリューション、プロフェッショナルサービス、Uniface 部門において収益性向上を徹底することにより、当社は、2012 年度も、売上、EPS、営業キャッシュフローの増加に取り組んでいきます。」

2011 年度決算

2011 年 3 月 31 日をもって終了した 2011 会計年度において、コンピュウェアは、売上総額、ソフトウェアライセンス収入、メンテナンスおよびサブスクリプション収入、プロフェッショナルサービス収入のすべてにおい

て前年比増を達成しました。メンテナンスおよびサブスクリプション収入は 4 億 8,700 万ドル(前年度:4 億 5,630 万ドル)、ソフトウェアライセンス収入は 1 億 9,470 万ドル(前年度:1 億 9,450 万ドル)、プロフェッショナルサービス収入は 2 億 4,720 万ドル(前年度:2 億 4,130 万ドル)と、いずれも上昇しています。

2011 年度の売上は、前年度 8 億 9,220 万ドルから 9 億 2,890 万ドルに増加しました。純利益は、前年度が GAAP ベースで 1 億 4,080 万ドル、pro forma ベースで 9,370 万ドルであったのに対し、今期は、GAAP ベースで 1 億 740 万ドルとなりました。EPS は、前年度が GAAP ベースで 60 セント、pro forma ベースで 40 セントであったのに対し、GAAP ベースで 48 セントとなっています(発行株式総数は前年度 2 億 3,460 万株、今年度 2 億 2,610 万株)。

2010 年度の純利益と EPS の増加は、一部の製品ラインの売却に伴う 5,240 万ドルの特別利益と、紛争決着に伴う、2,070 万ドルのその他収入によるものです。

2011 年度第 4 四半期決算

第 4 四半期のソフトウェアライセンス収入は、5,570 万ドルに上昇しました(前年同期:5,180 万ドル)。メンテナンスおよびサブスクリプション収入は 1 億 2,400 万ドル(前年同期:1 億 1,790 万ドル)、プロフェッショナルサービス収入は 6,990 万ドル(前年同期:6,030 万ドル)と、それぞれ上昇しています。

第 4 四半期売上総額は前年同期の 2 億 3,000 万ドルから 2 億 4,960 万ドルに増加しました。純利益は 3,480 万ドル(前年同期:3,740 万ドル)で、1 株あたりの利益は前年同期と同額の 16 セントとなりました(発行株式総数は前年同期 2 億 2,870 万株、2011 年度 2 億 2,440 万株)。

2011 年度第 4 四半期ハイライト

2011 年度第 4 四半期中のコンピュータの主な取り組みは以下の通りです。

- Suncoke Energy 社の会長であり Sunoco 社シニアバイスプレジデントでもある Frederick A. (Fritz) Henderson の取締役就任を発表しました。
- 世界中のお客様に対しアプリケーションパフォーマンス管理ソリューションを提供するため、ミシガン州トロイを拠点とする HTC Global Services 社とのパートナーシップを締結しました。
- プロフェッショナルサービス業界に特化したリサーチ企業の権威、SPI Research 社とのパートナーシップにより、e ブックを発表し、『Building Lasting Value: Growth Strategies for Professional Services Organizations』を無料で配布しました。
- IT 企業によるネットワークデータアクセスの軽減とアプリケーションパフォーマンス向上を支援するため、GigamonTM 社と戦略的パートナーシップを締結しました。両社のパートナーシップによって、IT 企業は、ネットワークサービス品質を最適化し、診断やレポートにより、ネットワークやアプリケーションパフォーマンスの問題を改善できるようになります。
- Compuware GomezTM Performance Satisfaction Index に基づき、2010 年クリスマスシーズンのオンライン商戦において、優れたパフォーマンスを示した Web およびモバイルサイトを発表しました。
- 戦略および製品ライン管理担当バイスプレジデント Mark Hillman とパフォーマンス戦略担当バイスプレジデント Matt Poepfel が、Fusion 2011 CEO-CIO Symposium でプレゼンテーションを行うことを発表しました。
- テネシー州ナッシュビルで開催された Software Test Professionals Testing Conference 2011 において、CTO の Paul Czarnik が「Performance Testing: Putting Cloud Customers Back in the Driver's Seat(パフォーマンステスト:クラウドの利用顧客に主導権を)」というセッションでプレゼンテーションを行うことを発表しました。

非 GAAP ベースの財務情報の利用

コンピュータは 2009 年 11 月 9 日に Gomez 社を買収しており、買収日以降の売上で計上されたのは、2011 年度 APM ライセンスおよびサブスクリプション収入総額の GAAP ベース比較における値だけです。2011 年度の pro forma ベースでの比較は、買収日を 2010 年度期首と仮定して行っております。

米国会計基準(GAAP)に準拠した決算報告に加え、今回および今後のプレスリリースにおいて発表される財務情報では、純利益と EPS に非 GAAP 基準を採用しています。本リリースでご紹介する非 GAAP 財務情報が、コンピュータの現状の業務と将来の展望を投資家の皆様にご理解いただく際の補助となるものと、コンピュータ経営陣は考えております。ただし、非 GAAP 財務情報の開示は、GAAP 準拠の財務情報からの乖離や、同情報の無効化を意図したものでもありません。経営陣は、業務の遂行と評価において GAAP と非 GAAP 双方の情報を用いているため、投資家の皆様にもこれを開示することが重要であると判断しました。本プレスリリース後に作成される財務諸表においては、非 GAAP ベースの財務情報は GAAP ベースになるよう調整します。

■ コンピューウェア コーポレーションについて

コンピュータは、‘The Technology Performance Company’として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピュータのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、フォーチュン 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

・米コンピュータ コーポレーション <http://www.compuware.com> (英文)

・日本コンピュータ株式会社 <http://jp.compuware.com/>

◆お問い合わせ先

・報道関係の方

日本コンピュータ株式会社 広報事務局 (株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL: 03-3523-8210、Email: compuware@jc-inc.co.jp

・Compuware Gomez™ APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュータ株式会社 営業部代表

TEL: 03-5473-4531、Email: marketingjapan@compuware.com

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。